

内容評価基準報告書

評価	A-1-(1) 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整備している
【講評】 クラス分けは1年生から3年生まで混合する形で編成されています。新学期である4月から2か月間は、子どもの様子を見ながら関係性を確認し、クラスを編成しています。学年を混合することで、互いに助け合う感情を持つことができ、特に3年生は責任感を育むことにつながります。子どもの成長とあわせてクラスを編成することで、子どもが安心して過ごせる環境を整えることができます。	
評価	A-1-(2) 放課後児童クラブにおける育成支援
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子どもが放課後児童クラブに自ら進んで通い続けられるように援助している
【講評】 利用スケジュールを明確にすることで、遊びと学習の時間を分けることができ、遊びの時間に自分がしたいことを友達と一緒に楽しむことができるようにしています。さらに時間にメリハリがあることで、通所している時間を有効に過ごすことができるよう自分で考えて行動する力が育まれるものと思われます。職員からの声掛けも子どもに合わせて行うことで、子ども自身が居場所として実感することができ、通うことが日常生活の中の一部となるよう援助しています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②子どもの出欠席を把握し、適切に援助している
【講評】 毎日学校と連携し出席の確認を行っています。学校が長期で休みになる期間はまとめて家族に予定表の提出をしてもらいます。また、降所時間が個々に異なるため時間を職員間で共有できるようホワイトボードを活用し一目でわかるようにしています。学校での居残りなどがあり、クラブへ来る予定の時間に来ていない場合には、同じクラスの子どもに尋ねたり、下駄箱を確認し所在を確認するなど子どもの安全確保の徹底に取り組んでいます。	
評価	A-1-(3) 子ども一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする育成支援
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるように援助している
【講評】 イベントを定期的を開催することを告知し、子どもは興味を持って参加することができます。日頃の様子とイベント時の様子など職員は子どもの状況によって、適切に判断し関わりを持つようにしています。イベントの実施と職員が個々の特性によって対応を行うことで、子どもの主体性も育まれていきます。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるように援助している
【講評】 利用時には自分の荷物を決められた場所にしまい、連絡帳を自分で出す、おやつの前には手を洗うなど利用時に行う約束事があります。約束事を守ることで生活を送るうえでの習慣を身に付けることができます。自分がしたいことがあると気持ちが先行しがちですが、必ず行う約束事があることで、ルールを守るための確認や声掛けを行うことができます。限られた時間で習慣を身に付けることができるよう、職員は子どもの行動に目を配っています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	③子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるように援助している
【講評】 子どもの中には集団で過ごすことが苦手であったり、ジェンダーレスであるなど個性の把握が必要となります。職員は一律で子どもをまとめず、個性を活かし、自分らしくできることに重きを置いています。月案を作成する際も子どもの個性を大切にしています。子どもを一人の人間として認め働きかけを行うことで、子どもの居場所作りにもつながっています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	④子ども同士の関係を豊かに作り出せるように援助している

【講評】 集団で遊んだり学習する際けんかになる場合もあります。手を出してしまった場合には注意も必要ですが、互いの話を別々に聞くなど解決に向け職員は関わります。職員が見えないところでけんかをする場合もありますが、子どもたちの様子を見ることで違和感に気づいた場合は迅速に対処するようにしています。職員が適切に仲介に入ること子ども同士の関係を構築できるようにしています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	⑤子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助している
【講評】 中には、自分で意思表示ができない子どももいます。職員は一人ひとりの子どもの個性を把握しながら、子どもが充実感、達成感が得られるように話の内容を考えながら会話をしています。以前は、なかなか意見が言えない子どものためにお手紙BOXを設置していましたが、職員との信頼関係や対話が増えたことにより、自分の言葉で伝えることができるようになりました。	
評価	A-1-(4) 固有の援助を必要とする子どもへの適切な育成支援
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①障害のある子どもの受入れの考え方を理解したうえで、受入れに努めている
【講評】 障害を持つ子どもの受け入れを2名までとして対応しています。診断がないグレーゾーンの子もいますが職員が研修などで学びの機会を持ち、子どもの特性に合わせた対応をしています。必要時には外部機関との連携を図ることができるようにしています。保護者からの情報をもとに子どものスピードに合わせて徐々に慣れることができることを大切にしています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②障害のある子どもの育成支援に当たっての留意点を踏まえ、育成支援を行っている
【講評】 毎月行う職員会議の際事例検討を行う機会を設けています。作業療法士による考察会を行うなど新たな視点で関わるができるようにしています。障害があることで学校の時間と学童の時間の切り替えが難しいケースもありますが、個別に支援を行います。特に育成について分担制をとっているため、職員同士の情報共有を行うことができ効果的な育成を行うことにつながっています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	③特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たって、関係機関と連携して適切な支援を行っている
【講評】 学校からケース会議に出席を依頼されることもあり関係を構築しており、スクールカウンセラーへ週1回相談ができる機会もあります。学校との連携は欠かすことができないため、情報共有の機会は必要になります。特に配慮が必要な子どもに対しては、環境が変わることで混乱をきたす場合もあるので、学校生活との連続性のある環境となるようにしています。	
評価	A-1-(5) 適切なおやつや食事の提供
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①放課後の時間帯におやつを適切に提供している
【講評】 毎日のおやつは、自分で選ぶことができるようにしており、おやつカレンダーを事前に配布し子どもたちの楽しみにしています。自分で好きなものを選ぶことはもちろんのこと、数を決めることにより他の人への気遣いも育まれるものと思われます。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②食に伴う事故（食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等）を防止するための対応を行っている
【講評】 アレルギーの情報を保護者から収集し、安全におやつを食べることができるようにしています。現在6名の子どもにアレルギー食材があるため一覧表を作成し注意がはらわれています。食べ物を提供するにあたり、マニュアルなどの作成はないものの、食中毒に注意し、布巾などは熱湯消毒し、テーブルや手指の消毒を行います。今後は、誤嚥などの緊急時に対して起こりうるリスクも想定したマニュアルの作成も必要と考えています。	

評価	A-1-(6) 安全と衛生の確保
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子どもの安全を確保する取組を行っている
【講評】 利用時は職員の目配りと声掛けにより安全の確保を行っていますが、子どもが帰宅する際にも配慮が必要です。ガードレールがない場所を歩いて帰宅する子どももいます。冬季は毎年シルバー人材の登録者が見守りを行ってくれますが、冬季以外は十分に注意するよう声掛けを行っています。さらに、行政に危険箇所があることの打診をするなど、利用から帰宅までの子どもの行動にきめ細かく配慮をしています。	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	②衛生管理に関する取組を適切に行っている
【講評】 毎日テーブルやいすの消毒を職員が行いますが、土曜日は子どもと一緒に遊具の消毒をしています。定期的に消毒を行うことで、感染症の蔓延防止に努め一緒に子どもと行うことで衛生に対する意識づけを図っています。また、おやつも個包装のものを準備しています。おやつの内容によっては手袋を準備するなど子どもが自分で感染症の予防が行えるよう職員は声掛けをしています。	
評価	A-2-(1) 保護者との連携
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①保護者との協力関係を築いている
【講評】 保護者会の開催は行っていませんが連絡帳などを利用し、保護者と子どもの情報を共有し連携しています。保護者からの連絡事項は記載内容を確認し、職員間で共有します。1年生は特に保護者のお迎えが多いため学童での過ごし方を直接伝えることができます。利用人数が多いことから、保護者からの連絡が漏れることがないよう教室ごとに担当者が確認しています。また、学童で宿題をして、確認は保護者が行うことを約束するなど協力できる関係を築いています。	
評価	A-2-(2) 学校との連携
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子どもの生活の連続性を保障するため、学校との連携を図っている
【講評】 学校との連携は必要ですが個人情報については取り扱いには、十分に気を付けています。外部に漏れることがないようにやり取りが行われています。利用人数が増員された際なども教室の使い方など学校と協議し利用しています。また、年2回運営委員会を開催し、学校職員・民生委員・役所職員・保護者代表が参加することで安全に子どもが過ごすことができるよう話し合いの場を設けています。	
評価	A-3-(1) 子どもの権利擁護
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	①子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている
【講評】 職員からの働きかけを行う際言葉使いには注意を払っています。子どもが怖い・怒られたなど意図しないとらえ方をしてしまうことがないようにしています。子どもが持つ感性を大事にできるよう、個々に合わせた対応を心がけています。また、子どもが自由に過ごすことができるよう遊びの条件はつけないようしています。子どもが自分のことを自分で考え実行できることを大切にしています。	